

## 平成29年第3回教育委員会定例会議事録

招集日時 平成29年2月27日（月曜日） 午前9時開会／午前10時15分閉会  
招集場所 加賀市役所別館3階 304会議室  
教育長 山下修平  
出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子  
会議列席者 梶谷事務局長、山田次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、  
畷崎文化財保護課長、前野中央図書館長、河崎屋山中図書館長、奥村マラソン開催推進室長、  
渡部教育庶務課長補佐

山下教育長 平成29年第3回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

2月27日ということで、今年度もあと1ヵ月を残すところとなりました。今、市役所内では、先週の金曜日から3月議会が始まりました。来週の月曜、火曜には一般質問の本会議となっております。年度末の議会ということもありまして、ほぼ全員の方の質問があるんじゃないかと予想されておりますし、教育委員会関係もまた多々あるんじゃないかなと思います。委員会としましては人事異動の時期にまいりまして、大変せわしない毎日を送っております。学校も3月10日には中学校の卒業式、17日には小学校の卒業式といよいよ差し迫ってまいりました。今日はこの後、総合教育会議もございます。大変過密な日程かと思えますけど、よろしく願いいたします。それではさっそく審議事項に入りたいと思います。議案第9号、加賀市本川弘一科学奨励基金条例について山本課長お願いいたします。

- 議案第9号 加賀市本川弘一科学奨励基金条例について  
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 この本川弘一科学奨励基金の設置ということですが、補足をしますと、本川弘一博士のお子さんであります本川達雄先生が桑原町の出身ということで、こちらにお墓参りに帰られた時に庄地区で講演会を設けたりとか、せっかくこちらへ来られたので、小学校で授業をしていただきたいという話になりまして、昨年、合計7カ所の小学校へ回って、主に5、6年生に出前授業をしていただきました。そういうご縁で本川先生から今のお話がありまして、そして私たちが代表で東京の方に出向きまして、寄付の承諾をいただき、寄付をしていただくことになりました。秋の科学作品展で優秀な子どもに対して、今までも賞を出していましたが、これからは本川弘一科学奨励賞というかたちで顕彰しようということになったということでもあります。それでは議案第9号、加賀市本川弘一科学奨励基金条例についてご意見、ご質問ございませんか。6、7ページのところの補足説明はよろしいですか。

山本課長 関連で当初予算と補正予算の順番を入れ替えて説明してもよろしいでしょうか。

山下教育長 関連していますので、説明をお願いいたします。

● 議案第11号 平成28年度3月補正予算（教育委員会関係）について  
山本課長 継続説明

山下教育長 平成28年度から3年間で合計300万円の寄付をいただいて、それで科学奨励賞を出すというものであります。これについてご意見、ご質問ございませんか。ないようでしたら議案第9号、加賀市本川弘一科学奨励基金条例について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決といたします。それでは次にいきたいと思えます。

山本課長 すみません、議案第11号の補正予算の方を先にさせていただいてもよろしいでしょうか。

山下教育長 それでは議案第11号、平成28年度3月補正予算（教育委員会関係）について、こちらを先にさせていただきます。山本課長お願いいたします。

● 議案第11号 平成28年度3月補正予算（教育委員会関係）について  
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 まず1番は先ほど説明がありました本川弘一科学奨励基金への積立金ということで、100万円を積み立てると。もう一つはこども科学実験室の整備事業の見直しによる減額ということで、今ほど説明がありましたが、風洞実験装置を浄化センターのところに移設する予定でありましたが、亀裂が天井構造まで及んでおり、そこへ3トンもの装置を移設・設置するのは困難であるということで、その事業は減額補正として、それを今、防災倉庫へ一時的に保管をするということになったということでもあります。この2件の補正予算についてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 お願いします。2点目のこども科学実験室整備事業の事で、一時的に防災倉庫の方に保管をしてあるということなんですが、今年度は設置できないということで減額補正になったんだと思うんですが、次年度以降はこの風洞実験装置をどこへもっていくのか、あるいは浄化センターの亀裂箇所をきちんと修復するのかというようなことも併せて、今後の見通しを是非お聞かせいただきたいと思えます。それから関連して、それをどういうかたちで子どもたちに活用させているのかがあまり見えなかったもので。場所としては中谷宇吉郎雪の科学館の横に置いてあることに意味があったのではないかと判断されますので、それも含めて今後の見通しを是非お聞かせいただきたいと思えます。以上です。

山下教育長 今後の見通しについてということでお願いします。

山本課長 はい、この風洞実験装置の今後の見通しですけれども、今の時点では活用方策について明確には決まっておられません。それで篠原委員がおっしゃったように、雪の科学館とセットでこの活用方策を考えるべきだとこちらの方でも考えているところです。それに

関連した新しい事業が当初予算でまた別に予定しておりまして、中谷宇吉郎記念財団と連携しまして、中谷宇吉郎の科学や芸術、その辺りの普及・啓発を図っていくという、そういった新しい事業も計画したところであります。その事業とも絡め合わせまして、風洞の活用方策も考えたいと思っております。

山下教育長  
篠原委員  
山下教育長

それでよろしいでしょうか。

はい。

今のところまだこの風洞実験装置をどこに設置して、どうするといった具体的なことは決まっておりませんが、29年度の新規事業で、中谷宇吉郎の科学と芸術に関する新しい事業を始めるということで、その中で今の実験装置も、どうしていくかということもまた検討したいということでもあります。他、ございませんか。

ないようであれば、議案第11号、平成28年度3月補正予算（教育委員会関係）について賛成の方は挙手をお願いします。

委員

全委員挙手

山下教育長

全会一致で可決いたします。それでは議案第10号に戻りたいと思います。議案第10号、平成29年度当初予算（教育委員会関係）について山本課長お願いいたします。

● 議案第10号 平成29年度当初予算（教育委員会関係）について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

今ほど第10号議案、29年度当初予算について説明がありました。まず予算説明資料3ページの教育費が2,553,434,000円と、加賀市の予算の中の全体の額の8.2パーセントに当たると。そして教育費に関しては、前年度より9.2%の増であるという説明がありました。9.2%の増の主だったものですが、教育庶務課で1.2%増、それから学校指導課では4.2%増、そしてスポーツ課で15.3%増と大きな事業が入っておりますので増えております。そしてその内訳ですけど、別資料の主要事業の概要で今説明があった通りです。目次のところを見ていただくと主な事業の一覧が出ております。特に今年度は市長が学力向上に力を入れたいということで、プログラミング教育、国際交流も併せて、子ども達が活躍できる場をとということでの事業がたくさん出ております。それから家庭教育支援条例の関係で、健康福祉部や建設課と一緒にの子育て安心パッケージに関連した事業が2つあります。それからスポーツ課ではウォーキングの事業と、黒崎小学校のグラウンドの芝生化と、橋立自然公園のグリーンパーク、これが主だった事業かなというふうに思います。今、主要事業についての説明がありましたが、これについてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

はい、お願いします。まず説明資料の1ページ目です。児童生徒の学力向上事業に関してお聞きしたいと思います。その事業内容の土曜塾のところですか。これを見ると山中地区で新規で発足するんだろうと考えますし、そして新たに放課後公営塾開催事業というのが謳われました。会場は各中学校もしくは中学校最寄りの地区会館と書いてあるんですけれども、もし現時点でどこの中学校校区で出されるのかということとか、どのような学年を対象にしてどのような教科について指導されるのか。それによってどのような

効果が期待できるのかということも併せて、見通しも教えていただければ大変幸いです。以上です。

山田次長

はい、今ご質問がありました放課後公営塾開催事業についてご説明いたします。まず開催する箇所ですけれども、これは全中学校ということで6カ所で開催します。学校の都合によりまして学校での開催もありますし、夜の管理上難しいという学校においては、近くの地区会館を借り上げて行うということで、クラブ活動が終わった後、7時半頃から9時頃まで1時間半、教科は数学に絞りまして実施いたします。講師は教員免許のある退職校長、退職教諭を見込んでおります。学年は1、2、3年生すべてでございまして、数学に苦手意識のある生徒、そして安全上の問題もありますので、送迎等できる生徒に、放課後に勉強していただくということです。期待できる効果ですけれども、小学校におきましては補充学習を行う時間は割とあるんです。放課後とか昼休みとかそういうような時間がありまして、授業が十分理解できなかった場合に、その日のうちに補充ができる環境があるんですが、中学校におきましては一番の課題はやはり放課後は部活動等があるということで、非常に学校生活の中では補充が難しいということですので。もちろん希望者ですが、課題を解決したい、数学がわかるようになりたいという生徒に希望をとって、放課後に補充学習をすることによって数学の理解を助けたいということで、数学の学力向上に寄与するものというふうに考えております。以上です。

篠原委員

関連してお願いします。狙いは補充学習で、決して進学とか頭の良い子を集めている学習ではなく、底上げを狙っているということですね。

山田次長

はい。

篠原委員

学年などの人数のしぼりはありますか。例えば定員は何人以上までは受け付けますなどそこまで考えてらっしゃいますか。

山田次長

補充学習でありますので、そんなに多くないと思っておりますし、学校規模、例えば橋立中学校と山代中学校では集まってくる生徒の数も異なってくると思います。講師の数は募集をかけて、これではちょっと人数が多すぎるということになりましたら、その時にまた考えますが、今のところはそんなにたくさん集まってこないのではないかとということで、定員は考えておりません。

篠原委員

一番大切なことは、これによっていわゆる数学嫌いという子どもがなくなってくるのが大切ですし、もっと大切なのは授業の中できちんとやれるのが一番大切だと思います。

(2)では数学・英語の教科についてグループ別又は、複数教師による授業ということで、きちんとした習熟度に応じた授業を行っているということなので。もちろん放課後塾も大切なことですが、一番大切なことは日々の授業なので、そのところを改めて教育委員会の方でご指導していただきたい。教育委員会としてはわざわざ特別な予算を組んでまでも数学と英語の底上げをしているんだということもありますので、できないから放課後塾へ行くということがないように、特に教員の方には指導していただきたいなと思います。これは私の意見です。以上です。

山下教育長

ありがとうございました。他、ございませんか。

疎委員

はい、同じところで小中学生を対象に土曜公営塾というのは毎週土曜日にされるんですか。

山田次長 この事業は今年度から始めておりまして、大聖寺地区と、片山津地区で今年度後期は102人の児童生徒が学んでおります。各学年1時間ずつですから、土曜日に5時間、小学5年生、6年生、中学1年生、2年生、3年生で5時間の補充学習を行っているということです。毎週土曜日ですが、例えば片山津でお菖蒲湯祭りがあるときとか、大聖寺で十万石祭りがあるとき、また中学校では部活動の大会があったりしまして、今年度は小学校においては34回、中学校においては32回実施いたしました。来年度もそのような数の授業をやっていききたいというふうに思っております。

疎委員 公営塾も講師の方は退職された先生になるんですか。

山田次長 はい、教員免許のある方です。中学生においては平日週2回と土曜日ということで、学習習慣が身に付くということも大きな狙いのひとつでありまして、加賀市においては、学力学習状況調査においてゲーム、DVDを見ている時間が、全国平均よりも高くなっているということで、その時間帯に学習するという習慣ができないかなということも狙いのひとつとして取り上げております。

疎委員 公営塾も数学だけですか。

山田次長 すべて数学です。今のところ数学でやっていきたいということで、まずスタートいたしました。

疎委員 国語とかは個人の読書とかに任せるんですか。

山田次長 本当は英語も国語も理科も社会もやっていけたらよろしいんですが、講師を勤めるそれだけの人的資源といいますか、そういうものがまだ確保できないということで、とりあえず今は数学でスタートさせたいということでございます。

山下教育長 他、ございませんか。

篠原委員 2、3ページのスマート加賀IoT推進事業のところですか。これは市長が大変力を入れてらっしゃるということで、教育委員会としても大変大切なことだと私自身も認識しております。まず1点目は事業内容の(1)IoT人材育成事業で、これも新規だと思っておりますが、どのような学年で、たぶん総合的な学習の時間などを利用せざるを得ないと思いますけど、何時間くらい実施していくのか。それから2点目はプログラミング推進事業で15,500,000円の計上をなされています。教材、タブレット等を整備すると書いてありますが、タブレット等はどのような規模で、どのような学年で何年生以上から配布するのか、ということ併せて教えていただきたいと思っております。以上です。

山田次長 まずプログラミング教育をどのようなかたちで行うかということですが、来年度、4年生以上、4、5、6年生、中学1、2、3年生ということで、小学校においては年間5時間のカリキュラムを作っております。そのカリキュラムについては今年度教員研修を行いまして、各学校1、2名の教員が研修を受けております。その授業を総合的な学習の時間を使って行うということです。中学校においては技術家庭の時間の技術分野で、プログラミングによる計測と制御という単元がありますので、その単元で学習する学年は教科で行います。それ以外の教科で行わない学年につきましては、総合的な学習の時間で5時間のカリキュラムで行ってもらうということです。併せて、教育推進事業のところでタブレット等ということですが、まず全小中学校で行いますので、環境整備も全小中学校で同じように行うということです。タブレットにつきましては小学校では4人に

1人が使える環境です。例えば40人いましたら10台のタブレットということです。中学校におきましては3人に1人に提供できるだけの数のタブレットを配置します。併せまして先ほど言いました中学校の技術の授業で、ロボレーブのロボットを使って授業をしていただくということで、橋立中学校におきましては30台ですが、その他の学校におきましては40台のロボレーブのロボットを配置する環境を提供していくということになります。以上です。

篠原委員

今、小中のプログラミング教育の中で、年間で5時間ということですが、小学校と中学校とでは内容面は違いますよね。

山田次長

はい。

篠原委員

あとタブレットが小学校は4人に1台、中学校が3人に1台ということでなんですが、これでプログラミング教育ができるのかと疑問に思います。どういうことかと言いますと、例えば1人に1台を持たせる環境じゃないと「ちょっと貸して」「見せてほしい」などとやっていたら実際のところなかなかプログラミングのプロまでいくのかなと危惧いたします。予算の関係でそうせざるを得なかったというのは重々推察されますので、例えばこれは次年度以降、1人1台という環境にもっていくのか、もっていかないのか。全学校同時にやるので仕方ないと思うんですが、本来ならば1人に1台を分けておいて、そこを集中的・先導的にさせるというのもいいのかなと思います。全小中学校の児童生徒にさせるということで方針は大変結構なことなんですが、そのためにはそれなりの環境整備をしてあげないと、子ども達は効率的な学習の習得ができないと思いますので、それも併せて今後の見通しが分かれば教えてください。

山田次長

この授業につきましては基本的にはパソコンルームで、デスクトップの固定型のパソコンを活用します。それで数が足りない部分をタブレットで補充するというようなかたちになると思います。ですから今20台程度の固定型パソコンは各学校にありますので、来年度以降のプログラミング教育は1人1台のパソコン、またはタブレットで実施できるというふうに思っております。今後は学習指導要領のプログラミングの実施について、文科省からの資料も出るということを知っておりますので、それを見ながら考えていくことがまた必要かなと思っております。

篠原委員

ありがとうございました。

山下教育長

当初予算の主要事業についてはこの後の総合教育会議の議題にもなっておりますので、またそちらで審議をしていただくということをご了解をお願いしたいと思います。

山下委員

1点だけお願いします。先ほどのこども科学実験室整備事業で、これはなくなりました。今、調べていましたら次年度予算にこの管理予算が含まれていないと思うんですが、1年間そのままなのか、何かの時に補正予算を組まれるのかということだけお願いします。

山本課長

はい、主要事業の中の13ページ目になりますけれども、中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業があります。これは29年度からの新しい事業になります。これは一言で言いますと、中谷宇吉郎という加賀市が生んだ世界的な博士、この博士の科学の心を継承しながら市民、そして児童に科学と芸術を絡め合わせながら啓発を図っていくというような趣旨の目的としております。この中で風洞実験装置の活用も絡め合わせながら検

討していきたいと思っております、現時点では風洞装置を未来的にどこに設置するか、そこまで検討は進んでおりませんが、この事業と併せて検討していきたいと考えております。

山下委員 ありがとうございます。

山下教育長 それでは議案第10号、平成29年度当初予算（教育委員会関係）について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決いたします。それでは報告事項に入りたいと思います。報告第2号、小学校・中学校卒業式における教育委員会告辞について山田次長お願いいたします。

- 報告第2号 小学校・中学校卒業式における教育委員会告辞について  
山田次長 資料に基づき説明

山下教育長 小中学校卒業式における告辞についてただいま説明がありました。皆さんのところには事前にいつているかと思えます。ご覧になられてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 要望だけお願いいたします。小学校の方も中学校くらいの文字のポイントで作っていただけないかなと思えますのでよろしくお願いいたします。

山下教育長 他、ございませんか。

山下委員 小学校の方が若干長い気がするんです。言葉遣いももう少し柔らかい、ソフトな言い回しと言いますか、言葉を小学生にわかりやすくして、少し短くされた方がいいのかなと思えます。以上です。

山田次長 それでは事務局の方で検討させていただきまして、もう一度見直してみたいと思います。長さと言葉の表現の仕方ですね。また考えてみます。

山下教育長 他、ございませんか。それではフォントは中学校用の大きさにして、今言われたところを見直して、出来上がりましたらお配りをしたいと思えますのでよろしくお願いいたします。この件についてはよろしいですか。では次、報告第3号、小学校・中学校入学式の日時について山田次長お願いいたします。

- 報告第3号 小学校・中学校入学式の日時について  
山田次長 資料に基づき説明

山下教育長 これについてはもう各教育委員さんの出席の学校も決まっております。6日の日は午前も午後もありますので空けておいていただきたいと思えます。この時にはまた祝辞というかたちで用意をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

山下委員 山中中学校は市長もお見えになるんですが、この場合、市長と教育委員会と祝辞は別々にあるということですか。

山田次長 はい、ふたつあります。

山下教育長 他、ございませんか。それではその他に入りたいと思えます。加賀温泉郷マラソン2017参加申込者数について奥村室長お願いいたします。

- その他 加賀温泉郷マラソン2017参加申込者数について

奥村室長 資料に基づき説明

山下教育長

加賀温泉郷マラソン2017の申し込みが過去最高の6,076人に、海外からも59人の申し込みがあったということです。これについてご意見、ご質問ございませんか。今年はなんとかいい天気で開催できることを祈っております。教育委員の方々もまた応援いただけたらと思います。それでは次、会議日程等について山本課長お願いいたします。

- 会議日程等について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

それでは次回の定例会を3月29日水曜日午前9時からということで、今3月に入っの会議等の予定が3つ入りました。ご確認をしてまた出席の方をよろしく願いいたします。会議の予定等について何かございますか。委員の方々から何かございますか。なければまたこの後、総合教育会議を開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは以上をもちまして、第3回教育委員会定例会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。